

令和 6 年度（第 1 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・社会人特別選抜)

入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 7 枚（表紙を除く）、解答紙は 2 枚。
- 3 設問 I、設問 II … の解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。

## 設問 I

以下の文章を読み、問 1, 2, 3 に答えなさい。なお、解答は解答紙の 1 枚目に記し、合わせて 1 枚の分量程度とすること。

問 1 下線部 (1) の形成的評価の新たな理論的発展とは、どのような議論をふまえ何を目指したものか説明しなさい。

問 2 形成的アセスメントにおける有効なフィードバックについて、本文に挙げられている例のほかに考えられる例を挙げ、その効果やねらいとともに説明しなさい。

問 3 下線部 (2) に関し、「学習のための評価」における教師の役割について、本文の内容を参考に自身の考えをまとめ、述べなさい。

<ここに下記文献が入ります>

「西岡加名恵・石井英真・田中耕治 (編). 新しい教育評価入門——人を育てる評価のために [増補版]. 2022」 pp. 68-76 より引用。一部改変。





出典：「西岡加名恵・石井英真・田中耕治（編）. 新しい教育評価入門——人を育てる評価のために[増補版]. 2022」より抜粋。一部改変。

## 設問II

以下の資料（1から4）は、東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所が共同で実施した「子どもの生活と学びに関する親子調査」（2021年実施）のデータである。

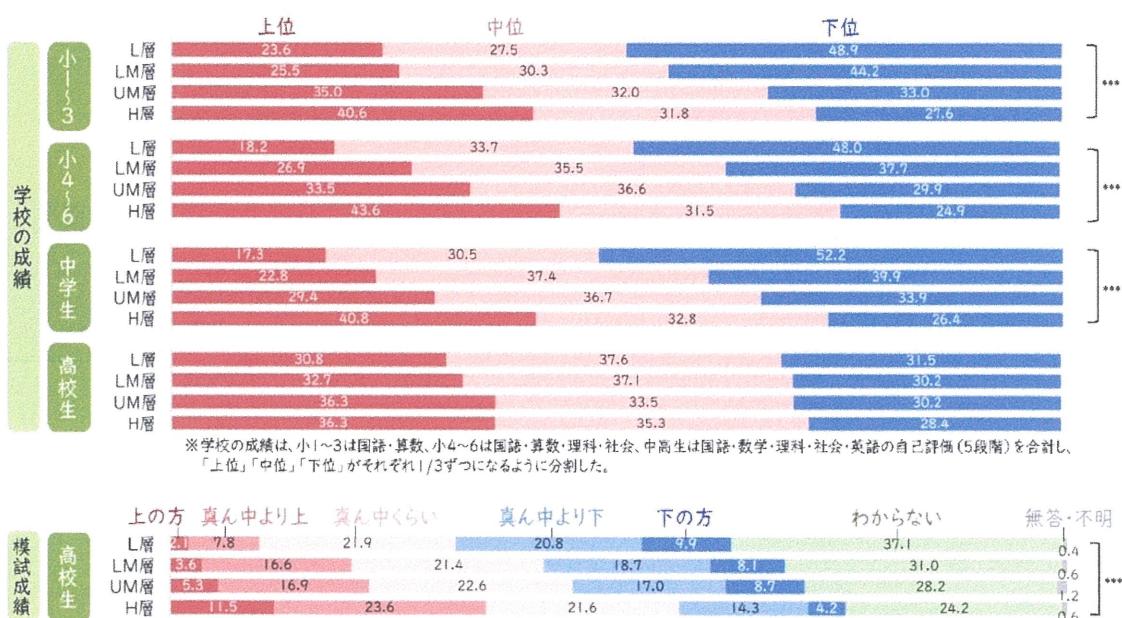
SES (Socio-economic Status) は、保護者の社会経済的地位を表す。資料においては、SES のもっとも低い層が L 層 (Lowest SES)，次に低い層が LM 層 (Lower Middle SES)，上から二番目に高い層が UM 層 (Upper Middle SES)，もっとも高い層が H 層 (Highest SES) と記されている。

次の問1と問2に答えよ。なお、解答は解答紙の2枚目に記し、合わせて1枚の分量程度とすること。

問1 各層の学校の成績および模試成績の特徴、学年の進展における変化の特徴について、資料1から読み取れることを述べよ。

問2 最初に、資料2、3、4から、各層における保護者の傾向について述べよ。次に、一つの層を選び、そこに確認される課題を提示せよ。最後に、その課題への対応策を、あなたの専門分野を踏まえて説明せよ。

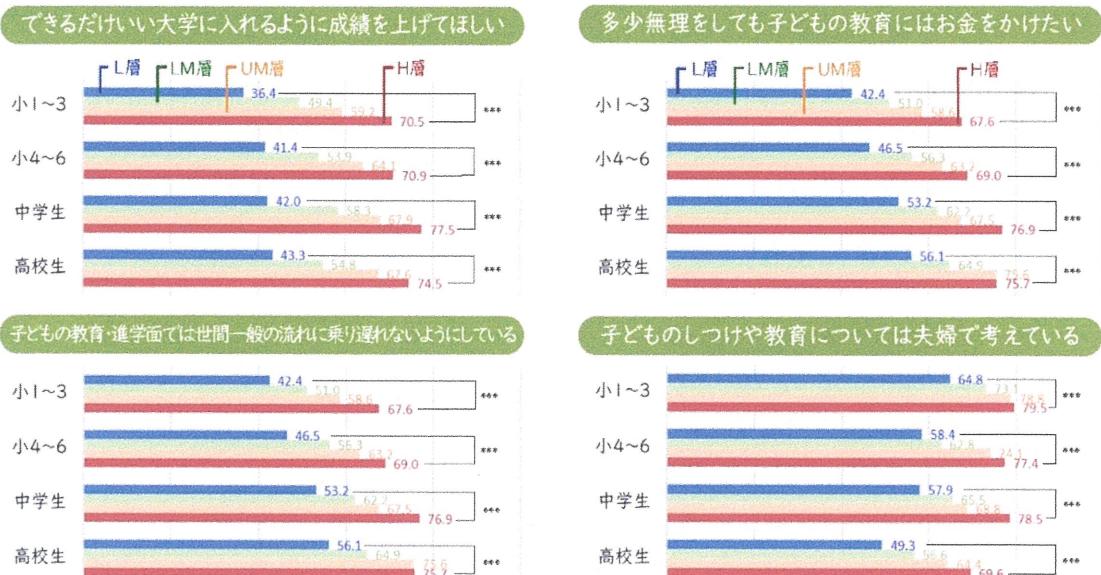
資料1：各層の学業成績



\*出典:東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査2021」

\*対象:小1～高3の15,598名のうち、SESが判別できた15,552名を分析。小1～3は保護者が回答、小4～高3は子どもが回答。

## 資料2：保護者の教育観

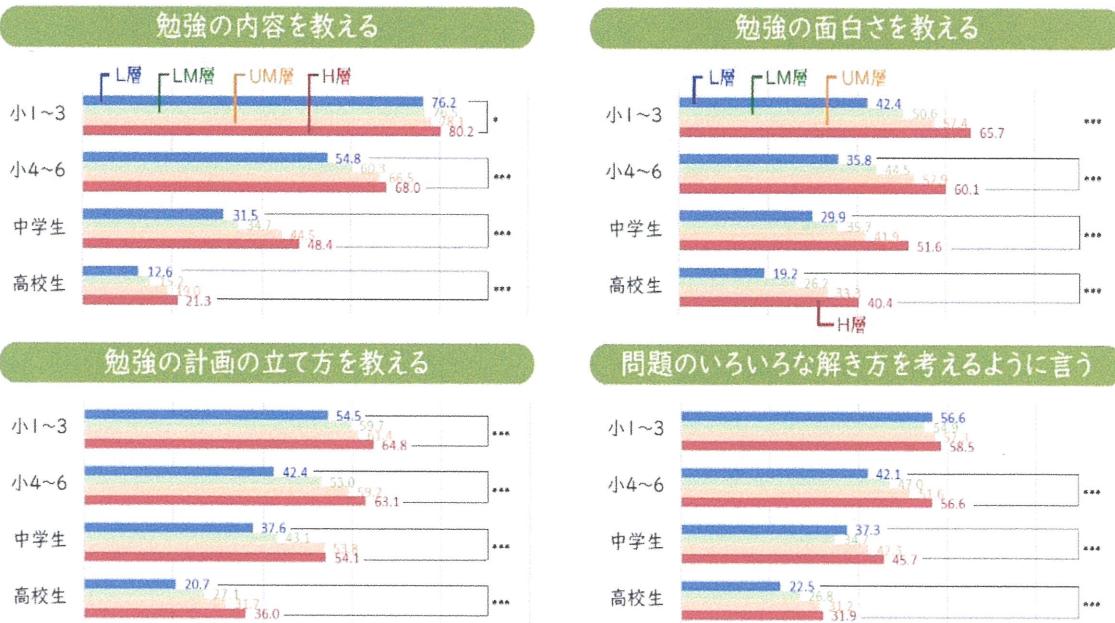


\*出典:東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査2021」

\*対象:小1～高3の保護者15,598名のうち、SESが判別できた15,552名を分析。

※ $\chi^2$ 二乘検定 \*\*\* $p < 0.001$ , \*\* $p < 0.01$ , \* $p < 0.05$

## 資料3：保護者の子どもの学習への関与

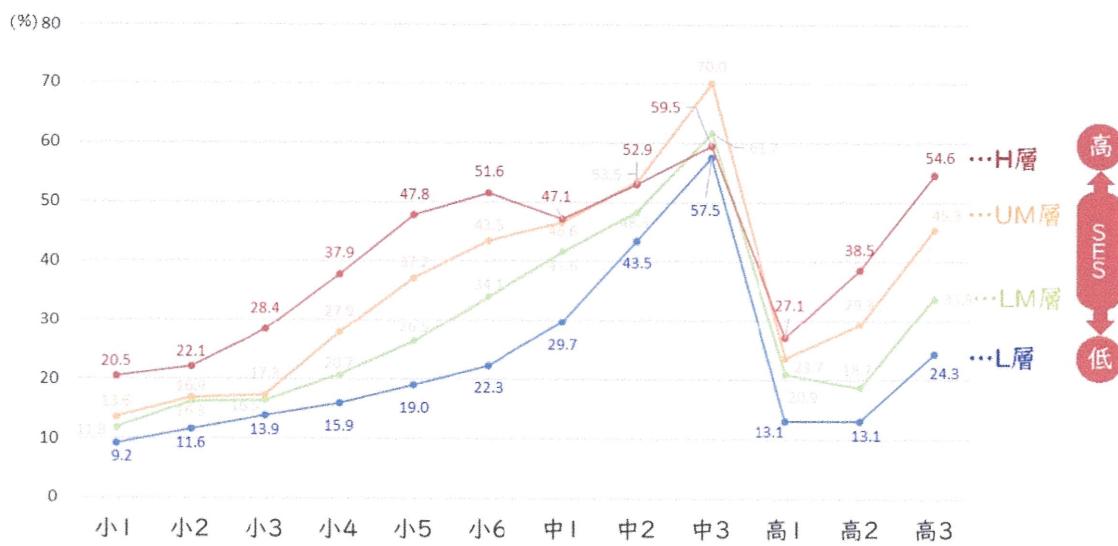


\*出典:東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査2021」

\*対象:小1～高3の保護者15,598名のうち、SESが判別できた15,552名を分析。

※ $\chi^2$ 二乘検定 \*\*\* $p < 0.001$ , \*\* $p < 0.01$ , \* $p < 0.05$

## 資料4：通塾率



\*出典:東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査2021」  
\*対象:小1~高3の保護者15,598名のうち、SESが判別できた15,552名を分析。

出典(資料1から4):木村治生、「教育格差について考えるデータ」(データで考える子どもの世界:第3回),ベネッセ教育総合研究所,2021年2月2日(<https://berd.benesse.jp/special/datachild/datashu03.php>)より抜粋。一部改変。

令和 6 年度 (第 1 期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および  
外国人留学生特別選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題 (専門科目)

注 意

1. 試験時間は 120 分。
2. 問題紙は 1 枚 (表紙を除く)、解答紙は 5 枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと (設問 I ~ 設問 III の解答は各 1 枚の解答紙を用いて、設問 IV の解答は 2 枚の解答紙を用いて、(1)~(4)を 1 枚目、(5)~(8)を 2 枚目に記入すること)。

.....臨床心理学コース.....

【設問 I】 臨床心理学研究における（事例研究を含む）質的研究と、量的研究に関して、その意義と重要性、また、気をつけるべき点を述べなさい。 (20 点)

【設問 II】 重度の肥満の A さんは、このままの食生活を続けていると糖尿病になるリスクが高いと医師から言われていますが、なかなか実行することができていません。A さんの両親も同様に肥満で、父親は糖尿病に罹患、悪化し、さまざまな合併症を起こしています。A さんの言い分としては「食生活を改善すれば、糖尿病は防げるかもしれないけれど、気分転換ができなくなって気持ちが滅入りそう。また食事は家族との楽しい時間なのでその楽しみがなくなるのはつらいし、健康的な食事を取ろうとすると弁当を持参するなど自分も妻も手間がかかる」とのことです。A さんの現状についてヘルスビリーフモデルを用いるとどのように理解できるか、ということについて述べた上で、適切だと考えられる心理支援について述べなさい。 (20 点)

【設問 III】 心理学的支援を開始するにあたっては、一般的に支援対象者の相談歴・受診歴（現在の相談・受診状況を含む）を聴取するが、このことの意義について述べなさい。 (20 点)

【設問 IV】 以下の用語をそれぞれ 5 行程度で説明しなさい。 (各 5 点)

(1) 精神保健指定医

(2) 陽性症状・陰性症状

(3) 社会的離脱理論

(4) 基本的帰属錯認

(5) デス・エデュケーション

(6) スクイグル

(7) 交感神経系

(8) 無作為化比較試験

(以下余白)